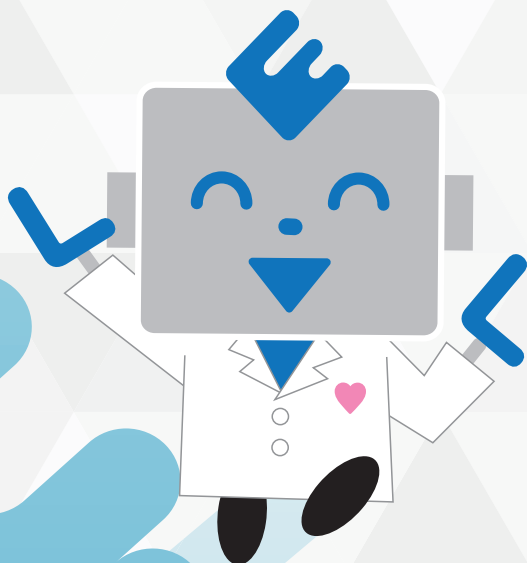


第4回

地域連携拠点 全国合同会議

抄録集

2025.02.14



第4回地域連携拠点全国合同会議

概要

日時	令和7年2月14日 10:30~15:30
会場	大分県労働福祉会館ソレイユ 7階 カトレア
開催形式	現地 / オンライン ハイブリッド形式
募集人数	現地 285名 / オンライン 300名
主催	経済産業省 / 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
参加対象	地域連携拠点に興味のあるすべての方
参加料	無料

プログラム

10:30 開会式

医工連携イノベーション推進事業 プログラムスーパーバイザー 妙中 義之

10:35 国の施策紹介

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長 渡辺 信彦

厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 医療機器政策室 室長 南川 一夫

10:50 文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課 先端医科学研究企画官 秋野 桂

11:05 日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究開発課 課長 岩田 倫明

11:20 医療機器開発支援ネットワーク事業の紹介

医療機器センター附属 医療機器産業研究所 調査研究室 主任研究員 本田 大輔

11:35 優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業の紹介

日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究開発課 調査役 赤川 英毅

12:00 採択事例紹介

大分大学医学部先進医療科学科 大分大学医学部附属臨床医工学センター 教授 穴井 博文

12:15 九州における医療機器開発の取組と連携状況

経済産業省 九州経済産業局 地域経済部 ヘルスケア・バイオ産業課 課長 福成 嘉和

12:30 昼休憩

13:30 パネルディスカッション

各地域連携拠点の特色紹介:6拠点×各5分

1. 九州オープンイノベーションセンター 矢田部 律夫

2. やまなし産業支援機構 尾谷 洋平

3. いわて産業振興センター 小山 康文

4. 大原記念倉敷中央医療機構 徳増 裕宣

5. 大阪商工会議所 松山 裕

6. ふくしま医療機器産業推進機構 小林 利彰

15:00 ディスカッション～地域連携拠点の特色を活かした広域連携～:60分

モデレーター

医工連携イノベーション推進事業

プログラムスーパーバイザー 妙中 義之

プログラムオフィサー 鈴木 孝司

15:00 閉会挨拶

経済産業省 九州経済産業局 地域経済部 ヘルスケア・バイオ産業課 課長 福成 嘉和

15:05 名刺交換会

15:30 終了

講演内容

P.3 経済産業省が考える、未来の医療機器産業

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長
渡辺 信彦

P.3 厚生労働省における医療機器に関する政策動向

厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 医療機器政策室 室長
南川 一夫

P.4 文部科学省における医療機器関連施策について

文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課 先端医科学研究企画官
秋野 桂

P.4 AMEDによる医療機器の研究開発支援について

日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究開発課 課長
岩田 倫明

P.5 医療機器開発支援ネットワーク事業の紹介

医療機器センター附属 医療機器産業研究所 調査研究室 主任研究員
本田 大輔

P.5 優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業について

日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究開発課 調査役
赤川 英毅

P.6 産学官連携による医療機器産業の集積と地域活性化

大分大学医学部 先端医療科 大分大学医学部附属 臨床医工学センター 教授
穴井 博文

P.6 九州における医療機器開発の取組と連携状況

経済産業省 九州経済産業局 地域経済部 ヘルスケア・バイオ産業課 課長
福成 嘉和

P.7 九州・沖縄地域連携拠点の取組みのご紹介

九州オープンイノベーションセンター
矢田部 律夫

P.7 医療機器産業クラスターとの近接性を活かした、医療機器開発回廊の形成にかかる研究

やまなし産業支援機構
尾谷 洋平

P.8 TOLIC 企業群を中心とする先端医療のヘルステック・デバイス・グローバルものづくり拠点の形成

いわて産業振興センター
小山 康文

P.8 広域的なインフラや地域資源を活かした中国・四国地域連携ハブ拠点の運用推進事業

大原記念倉敷中央医療機構
徳増 裕宣

P.9 国内随一の医療機器開発グローバル・エコシステム構築に向けた関西地域連携拠点自立化推進事業

大阪商工会議所
松山 裕

P.9 ふくしま医療機器開発支援センターの特色

ふくしま医療機器産業推進機構 小林利彰

経済産業省が考える、未来の医療機器産業

渡辺 信彦

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課
医療・福祉機器産業室 室長

経済産業省では、2022年5月31日に改定された「国民が受ける医療の質の向上のための医療機器の研究開発及び普及の促進に関する基本計画」を踏まえた産業支援を目的とし、イノベーション創出のための研究開発投資、並びに米国をはじめとしたグローバル展開による投資回収の2つの循環による産業成長を掲げた「医療機器産業ビジョン2024」を取りまとめ、2024年3月に公表を行ったところである。

これらの方針に基いて経済産業省が実施する医療機器産業支援について言及する。

略歴

2004-2006	中小企業庁企画課	2013-2017	在イラン大使館経済班長
2006-2008	資源エネルギー庁電力基盤整備課	2017-2019	大臣官房厚生企画室
2008-2010	産業技術環境局京都メカニズム推進室兼地球環境技術室	2019-2023	在トルコ大使館参事官
2010-2012	資源エネルギー庁資源燃料部政策課	2023	商務・サービスグループ医療福祉機器産業室長（現在）
2012-2013	ジョンスホプキンス大学高等国際関係大学院（SAIS）派遣		
2013-2014	通商政策局中東アフリカ課		



厚生労働省における医療機器に関する政策動向

南川 一夫

厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課
医療機器政策室 室長

我が国の医療機器に関する主な政策は、国民が受ける医療の質の向上のための医療機器の研究開発及び普及の促進に関する法律に基づき、5カ年計画である医療機器基本計画を策定し、関係省庁が連携して進められている。

本講演では、当該法律及び現行の第2期医療機器基本計画の概要を説明した上で、当該計画に基づき進められている厚生労働省の各種政策を概説する。

略歴

2008年	厚生労働省入省	2018年	厚生労働省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室（室長）
2009年	厚生労働省健康局結核感染症課新型インフルエンザ対策推進室	2019年	厚生労働省健康局難病対策課（課長補佐）
2012年	国立国際医療研究センター救命救急センター総合診療部総合診療科（医師）/ 企画経営部研究医療課（課長）	2022年	文部科学省研究開発振興局先端医学研究企画官
2014年	厚生労働省医政局研究開発振興課（課長補佐）	2023年	米国保健福祉省戦略的準備・対応管理局リエゾンオフィサー
2016年	福島県立医科大学医療研究推進センター長、特任教授	2024年	現職に着任

文部科学省における医療機器関連施策について

秋野 桂

文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課
先端医科学研究企画官

文部科学省では、平成27年より医療機器基本計画等に基づき、大学発のシーズを着実に実用化に繋げていくための支援を推進するとともに、革新的な医療機器開発に向けた基礎的な技術シーズの発掘や人材育成等に力を入れてきた。

既に多くの実用化等の成果が創出されているが、大学や企業の皆様により一層活用いただくために、文部科学省における医療機器の開発に関する取り組みである医療機器等研究成果展開事業および橋渡し研究プログラムの両事業について詳説する。

【医療機器等研究成果展開事業】



<https://www.amed.go.jp/program/list/12/01/013.html>

【橋渡し研究プログラム】



https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/hashiwatashi/index.htm

略歴

2009年4月	厚生労働省入省
2018年7月	厚生労働省 医政局 研究開発振興課 治験推進室 室長補佐
2018年10月	厚生労働省 保健局医療課 医療指導監査室 特別医療指導監査官
2022年7月	独立行政法人国立病院機構本部 医療部長
2024年8月	現職に着任

AMEDによる医療機器の研究開発支援について

岩田 倫明

日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部
医療機器研究開発課 課長

AMED では、成果を一刻も早く実用化し患者さんやご家族の元にお届けすることを目指し、6つのモダリティを軸にした統合プロジェクトのうち、特に医療機器分野については「医療機器・ヘルスケアプロジェクト」の各事業を通じて、基礎研究から実用化に至る一貫した研究開発を推進しているところである。

本発表では、医療機器研究開発課で実施しているまたは実施する予定の事業について網羅的に紹介する。また、拠点間連携の推進についても取り組んでいるところ、地域連携自立化推進事業との連携により、地域におけるエコシステム構築・地域の自立化を促進し、医療現場のニーズを研究開発に繋げ医療機器開発及び事業化の促進を目指しているところを紹介する。

略歴

2010年	奈良先端科学技術大学院 大学情報科学研究科 博士後期課程終了 博士（工学）
2011年	独立行政法人 国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター 知的資産部
2015年	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 産学官連携部 医療機器研究課
2019年	総務部 人事課
2024年	医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究開発課 課長



医療機器開発支援ネットワーク事業の紹介

本田 大輔

医療機器センター附属 医療機器産業研究所 調査研究室
主任研究員

医療機器開発は医療現場のニーズの把握、薬機法対応、知財戦略、販路開拓などの対応が必要であり、特に中小企業・ベンチャー・大学等にとってはハードルの高い課題である。

そこで、医療機器開発支援ネットワーク事業では医療機器開発の支援を目的に関係各省（内閣官房、経産省、厚労省、文科省等）や関連機関、企業、地域支援機関が連携し、開発初期段階から事業化に至るまで、切れ目ない支援を実施している。具体的には、医療機器の開発・事業化に向けて参考となる情報提供や助言の場の提供などである。

本講演では医療機器の開発者あるいは支援機関に医療機器開発支援ネットワーク事業を活用いただくべく、本事業の取り組みを紹介する。



略歴

2010年 杏林大学保健学部臨床工学科卒業、臨床工学技士免許を取得。
東京都立多摩総合医療センターにて臨床工学技士の業務、特に人工心肺（ECMOを含む）、血液浄化、人工呼吸器、医療機器管理等を幅広く経験。
2019年10月より現職。公益社団法人日本生体医工学会 第2種・第1種 ME 技術者、元体外循環技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士。

【コンタクト先】



医療機器開発支援ネットワーク事務局
（公益財団法人 医療機器センター附属 医療機器産業研究所）
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-34 本郷 MK ビル 2 階
TEL : 03-3813-8553
URL : <https://www.med-device.jp/>

優れた医療機器の創出に係る 産業振興拠点強化事業について

赤川 英毅

日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部
医療機器研究開発課 調査役

国内外の医療ニーズを満たす医療機器を開発するための拠点整備として、企業人材を医療機関で育成しようとする事業が10年にわたって進められてきた。これまでの実績を活かし、優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業では、採択された大学病院、国立病院、ナショナルセンター等が、研究開発、薬機承認、保険適用等の医療機器創出にて押さえるべき開発ステージに応じて必要な人材を配置させつつ、人材育成・リスクリング、スタートアップへの伴走支援を実施できるよう一層の取り組み強化を図っているところである。各拠点のアクティビティに応じ、上市に向けた研究開発を支援できる実践的な人材育成が奏効することで、優れた医療機器の創出が促されるように各拠点にも更なる躍進が期待されている。



略歴

企業にて製品開発に従事した後、筑波大学大学院博士課程を修了し、2005年に国立循環器病センター研究所人工臓器部に入所。補助人工心臓の研究開発に従事した後に産学連携活動にも従事し、2022年7月まで国立循環器病研究センターオープンイノベーションセンター産学連携本部社会実装推進室長。うち2020年4月～2022年7月は国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部知財・法務課長を併任。2022年8月から日本医療研究開発機構に出向し、同機構医療機器・ヘルスケア事業部医療機器研究開発課調査役として現在に至る。

博士（医学）、技術士（機械）
専門領域：医療社会学、医療技術評価学、人工臓器学など
日本人工臓器学会レギュラトリーサイエンス委員会委員・医療産業促進委員会委員・評議員、日本学術振興会科研費審査委員会専門委員など歴任。

産学官連携による 医療機器産業の集積と地域活性化

穴井 博文

大分大学医学部 先進医療科学科 大分大学医学部附属
臨床医工学センター 教授

大分大学では大分県・宮崎県、地域の企業とともに東九州メディカルバレー構想を掲げ、医療機器創出のための開発研究、高度医療人材育成の拠点づくりに取り組んできた。その活動の特色は「地域密着」、「臨床現場密着」、「医療機器開発情報のDX」であり、医療現場の開放、医療ニーズ収集と公開、企業研究者の人材育成、全国でのネットワーク構築に取り組んできた。

さらに、これまでの個々の取り組みを機能的に関連付け、伴走支援、スポット支援能力を備えた人材、組織・団体との連携強化を図り、ニーズ発掘から開発研究、社会実装までのプラットフォームを構築すると同時に、今後の医療機器開発において重要な領域であるAI・デジタル技術の医療機器開発への応用、それを可能にするための人材育成を行っている。



【開発者向けコンタクト先】
大分大学医学部臨床医工学センター
<https://www.ikogaku.jp>
E-mail: ikogaku@oita-u.ac.jp
TEL : 097-586-5138
FAX : 097-586-5146



略歴

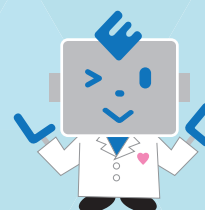
1986 年	大分医科大学医学部卒業	2002 年	大分大学医学部附属病院 講師
1986 年	大分医科大学医学部附属病院外科第二 医院	2008 年	大分大学医学部附属病院 心臓血管外科 准教授
1991 年	国立循環器病センター研究所 人工臓器部 レジデント	2012 年	大分大学 医学部 医学科 臨床工学講座 教授
1996 年	Texas Heart Institute (Houston Texas, U.S.A.) Research Fellow	2015 年	大分大学 医学部 医学科 臨床医工学センター 教授
2002 年	大分医科大学医学部外科第二講座 助手（心臓血管外科兼任）	2021 年	大分大学 医学部 先進医療科学科 教授
2002 年	大分医科大学医学部附属病院 心臓血管外科 助手	現在に至る	

九州における医療機器開発の取組と連携状況

福成 嘉和

経済産業省 九州経済産業局 地域経済部
ヘルスケア・バイオ産業課 課長

九州における医療機器開発の現状と九州ヘルスケア産業推進協議会や各県で実施されている医工連携の取り組みについてご紹介いたします。

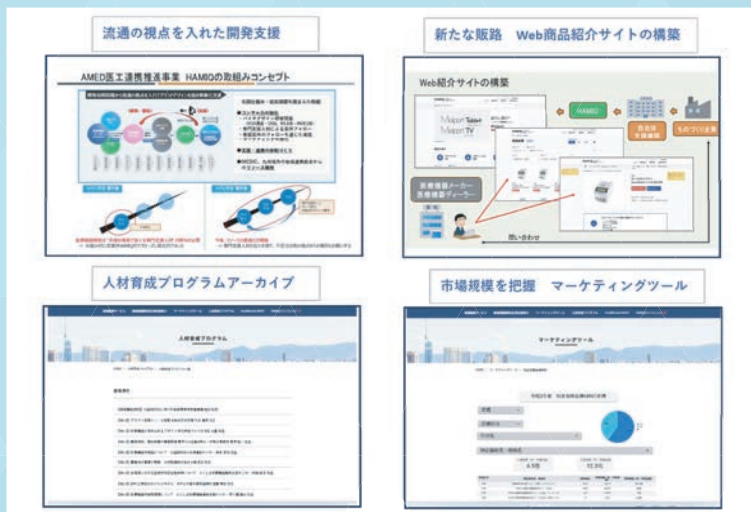


九州・沖縄地域連携拠点の取組みのご紹介

九州経済産業局と連携して九州・沖縄の大学・自治体・企業のネットワークを構築。九州外の支援拠点とも連携。使用する立場の医療機器の専門家である臨床工学技士・製造販売する立場の大手医療機器メーカー、販売する立場の医療機器ディーラーが中心となって売れる医療機器の開発を支援。医療機器開発に必要な基本知識を学べるサイトや、医療機器の市場規模を調べるサイト、開発された商品を紹介するサイトなどを HAMIQ ホームページで展開中。

矢田部 律夫

九州オープンイノベーションセンター



【コンタクト先】



九州ヘルスケア産業推進協議会事務局内
URL : <https://hamiq.koic.or.jp/index.php>
TEL : 092-411-7450
E-mail : hamiq.info2@koic.or.jp



略歴

大手医療機器ディーラーで40年以上勤務。医療現場で医療機器・医療材料の販売に従事。医療情報技師、医業経営コンサルタントなどを経て、九州ヘルスケア産業推進協議会に出向。

医療機器産業クラスターとの近接性を活かした、医療機器開発回廊の形成に係る研究

山梨県は、2020年にメディカル・デバイス・コリドー推進計画を策定し、県内企業の医療機器関連産業への参入を促進してきた。2023年に策定された推進計画2.1では、医療機器生産の分業体制において、製造受託の拠点を形成することを目指している。本研究では、メディカル・デバイス・コリドー推進計画の実施により得られた、医療機器の部材供給の実績などの強みを開発に生かすため、地域連携拠点において、医療機器開発に対応できる相談人材の育成や、広域連携の構築等を行っている。

医療機器の開発に向けた課題の整理、医療機器の部材を試作・開発・製造する企業の探索や、スタートアップ企業のパートナー企業（ODM・OEM）の探索、他地域に生産拠点を持つ企業からの供給拠点の多様化などの要望があれば、ご相談いただきたい。

尾谷 洋平

やまなし産業支援機構
メディカル・デバイス・コリドー推進センター

【コンタクト先】



メディカル・デバイス・コリドー推進センター
〒400-0055 山梨県甲府市大津町 2192-8
アイメッセ山梨 3F
TEL : 055-220-2091
E-mail : mdcc@yiso.or.jp



略歴

2004年 経済産業省入省
資源エネルギー庁、通商政策局、産業技術環境局、製造産業局、
商務・サービスグループを歴任
2023年 日本コンベンションサービス株式会社入社
同年 公益財団法人やまなし産業支援機構
メディカル・デバイス・コリドー推進センター コーディネーター就任

TOLIC 企業群を中心とする先端医療の ヘルステック・デバイス・グローバルものづくり拠点の形成

小山 康文

いわて産業振興センター

第1期事業（令和4年10月～令和6年3月）の成果と課題を踏まえ、令和6年6月に開始した第2期事業（医療機器実用化支援タイプ）では、事業化人材と専門分野支援人材の体制を強化し、「医療機器開発のためのエコシステム」に沿って、東北・全国の大学や各拠点等と連携して医療機器開発・事業化、海外展開を推進している。

岩手拠点の特色は、ヘルステック・デバイス産業集積拠点形成を目指している産学官金連携体「東北ライフサイエンス・インストルメンツ・クラスター（TOLIC）」をバックグラウンドとして本事業に取り組んでいることであり、TOLICと連携して本事業を推進することにより医療機器開発と事業化の拠点化を目指している。



略歴

いわて産業振興センター医療機器事業化支援コーディネーター
岩手県庁として定年退職後のいわて産業振興センター（4年）と
岩手大学（4年）を通じて、中小企業の研究・技術開発支援と産
学官連携を主に担当し、産学連携コーディネートを数多く経験し、
令和4年11月から現職。TOLIC設立時からTOLIC会長。

【コンタクト先】



住所：〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 2-4-26

TEL：019-631-3825

E-mail：kenkyu@joho-iwate.or.jp

広域的なインフラや地域資源を活かした 中国・四国地域連携ハブ拠点の運用推進事業

徳増 裕宣

大原記念倉敷中央医療機構

令和4年以降、当拠点は、医療機器開発エコシステムの構築と自立化を目指して活動してきた。本発表では、2024年12月上旬にタイで実施した活動を中心に報告する。PMDA バンコク事務所や国立がんセンター中央病院など日本の活動拠点を訪問し、Thailand Science Park 視察や NSTDA 関係者との面談を実施した。

また、同行企業とともに Vimut Hospital（調達部門長、現場医師）Thammasat Advanced Medical Center（前病院長、看護本部長）、Kluaynamthai Hospital（経営陣、現場医師）にて現場関係者を交えて、本事業の紹介および企業プレゼンを行い、タイでの医療機器展開に関する意見交換を行った。次年度は、タイだけでなくカンボジアの小児医療センターへの訪問も予定しており、活動の周知を図りながら企業の選定を進めていく予定である。

海外展開支援に関する取組み②



【コンタクト先】



略歴

2004年に倉敷中央病院にて小児科研修を行い、京都大学大学院臨床研究者養成コースに進学。卒業後は倉敷中央病院にて臨床研究支援部門の再編に従事するとともに、2015年からリアルワールドデータ株式会社の取締役役に就任。2022年より、臨床医学研究所臨床研究支援センターセンター長に就任。現職に至る。

URL：https://healthtechhub-cs.com/

E-mail：medical_devices@kchnet.or.jp

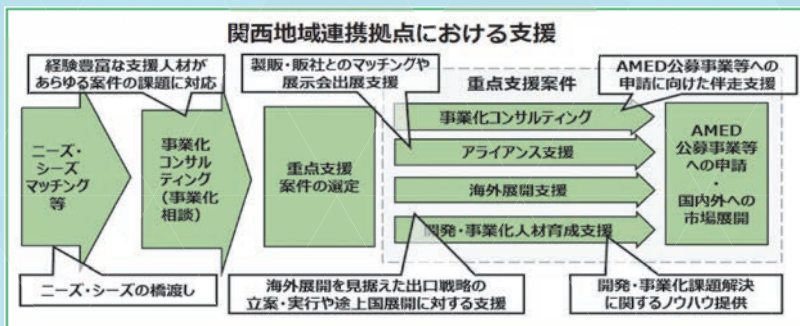
国内随一の医療機器開発グローバル・エコシステム 構築に向けた関西地域連携拠点自立化推進事業

松山 裕

大阪商工会議所 産業部 ライフサイエンス振興担当 課長

関西地域連携拠点では、関西が有する「企業の多様なものづくり技術力」、「集積するアカデミアの研究開発力」等の強みを活かして、国内で唯一の10以上の公的機関が連携する「関西医療機器産業支援ネットワーク」と一体的な推進体制のもと、先進的な医療機器開発プロジェクトの創出を推進しています。

ニーズ・シーズマッチングからアライアンス、事業化まで、企業の開発・事業化人材の育成も含めた一貫支援に取り組んでおり、近年では海外展開支援を拡充し、海外アクセラレータと連携してグローバル展開を見据えた案件育成プログラムも実施しています。こうした取り組みを通じて、関西のエコシステムと海外のエコシステムが連携することで国際的な支援コミュニティ（グローバル・エコシステム）の構築を目指しています。



略歴

2003年大阪商工会議所に入所後、ライフサイエンス振興担当のほか、産業・技術振興担当、流通・サービス産業部経営支援担当、人材開発部検定担当に所属。2021年より現職。
2010年度「医療機器分野への参入・部材供給の活性化に向けた研究会」（経済産業省医療・福祉機器産業室）中小企業の医療機器分野参入活性化方策の検討WG委員。
2016～2017年度大阪市立大学大学院経営学研究科非常勤講師（キャリアデザイン論）。
2021年度より大阪大学大学院医学系研究科・医学部付属病院産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ招へい教員。

【コンタクト先】



大阪商工会議所
産業部 ライフサイエンス振興担当（松山、竹中）
TEL：06-6944-6484
E-mail：amed-ikou@osaka.cci.or.jp

ふくしま医療機器開発支援センターの特色

小林 利彰

ふくしま医療機器産業推進機構 副理事長

ふくしま医療機器開発支援センターは2016年に設立され、医療機器の開発から事業化までを一体的支援する国内唯一の拠点です。医療機器 GLP、ISO/IEC 17025 の認証を取得し、信頼性の高い安全性試験を実施することができます。産学官・医工連携の分野を超えたマッチングで開発・事業化支援や、薬事・保険相談など専門家のサポートを提供します。実際の病院手術室と同様の設備で人材育成・トレーニングが可能です。AMED 事業では、東北地域を中心に医療機器担当者と協働し、医療機器の開発・実用化に必要な技術支援やマッチングを展開しています。さらに、「メディカルクリエーションふくしま」を通じて、企業・大学・研究機関の交流を促進し、新規参入企業を含む幅広い支援を行っています。



略歴

1997年 牧港中央病院 ME室
1998年 牧港中央病院 臨床検査室 ME室担当
1981年 ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）
医療機器事業部、技術開発係長、品質保証係長、Marketing Manager
2002年 ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）須賀川営業所長（2002～2017）
ISO13485 経営者、医療機器製造販売業 品質保証責任者
2021年 一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構
副理事長（現職）

【コンタクト先】



〒963-8041 福島県郡山市富田町字満水田 27 番 8
TEL：024-954-4014
E-mail：fmdipa_01@fmdipa.or.jp

第4回地域連携拠点全国合同会議 フライヤー

令和7年2月14日(金) 10:30-15:30

第4回

地域連携拠点 全国合同会議

会場 大分県労働福祉会館ソレイユ7階 カトレア

主催  経済産業省  国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Ministry of Economy, Trade and Industry Japan Agency for Medical Research and Development

開催形式 現地参加、オンライン参加のハイブリッド形式

定員 現地：285名 オンライン：300名

参加対象 地域連携拠点に興味のあるすべての方

参加料 無料 ※要事前登録

地域連携拠点とは？

地域における医療機器開発の推進、ひいては我が国における医療機器開発エコシステムの形成を目的とし、AMEDでは2021年度より経済産業省予算事業として「地域連携拠点」を採択し、支援しています。

地域連携拠点では、医療機器開発に係る「事業化コンサルティング（ハズオン支援）」「プロトタイプ開発支援」「医療機器評価支援」を重点的に行っています。

前日2月13日(木)合同開催!!

東九州メディカルバレー構想推進大会
公式サイト：<https://tsk.graffier.jp/pref-oita/smart-app/survey/1115733026678950613>



※本会議とは別の会議となりますのでご注意ください

プログラム

- 10:30 ○ 開会式
医工連携イノベーション推進事業
プログラムスーパーバイザー 妙中 義之
- 10:35 ○ 国の施策紹介
経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課
医療・福祉機器産業室 室長 渡辺 信彦
- 10:50 ○ 厚生労働省 医政局 医療産業振興・医療情報企画課
医療機器政策室 室長 南川 一夫
- 11:05 ○ 文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課
先端医学研究企画官 秋野 桂
- 11:20 ○ 日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部
医療機器研究開発課 課長 岩田 倫明
- 11:35 ○ 医療機器開発支援ネットワーク事業の紹介
医療機器センター附属 医療機器産業研究所
調査研究室 主任研究員 本田 大輔
- 11:50 ○ 優れた医療機器の創出に係る産業振興
拠点強化事業の紹介
日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部
医療機器研究開発課 調査役 赤川 英毅
- 12:00 ○ 採択事例紹介
大分大学医学部先進医療科学科
大分大学医学部附属臨床工学センター 教授 穴井 博文
- 12:15 ○ 九州における医療機器開発の取組と連携状況
経済産業省 九州経済産業局 地域経済部
ヘルスケア・バイオ産業課 課長 福成 嘉和
- 12:30 ○ 昼休憩

- 12:30 ○ 昼休憩 60分
- 13:30 ○ パネルディスカッション
各地域連携拠点の特色紹介：6拠点×各5分
1. 九州オープンイノベーションセンター 矢田部 律夫
2. やまなし産業支援機構 尾谷 洋平
3. いわて産業振興センター 小山 康文
4. 大原記念倉敷中央医療機構 徳増 裕宣
5. 大阪商工会議所 松山 裕
6. ふくしま医療機器産業推進機構 小林 利彰
- 14:00 ○ ディスカッション
～地域連携拠点の特色を活かした広域連携～：60分
モデレーター
医工連携イノベーション推進事業
プログラムスーパーバイザー 妙中 義之
プログラムオフィサー 鈴木 孝司
- 15:00 ○ 閉会挨拶
経済産業省 九州経済産業局 地域経済部
ヘルスケア・バイオ産業課 課長 福成 嘉和
- 15:05 ○ 名刺交換会
- 15:30 ○ 終了

参加無料!!
登録はこちらから○

地域連携拠点全国合同会議

公式サイト：<https://events.teama.microsoft.com/event/3316dd81-0b20-4557-8320-c83aa9a05658@c1a50d04-afa8-480a-9617-c8b77a9f5f56>



2025年2月発行



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development